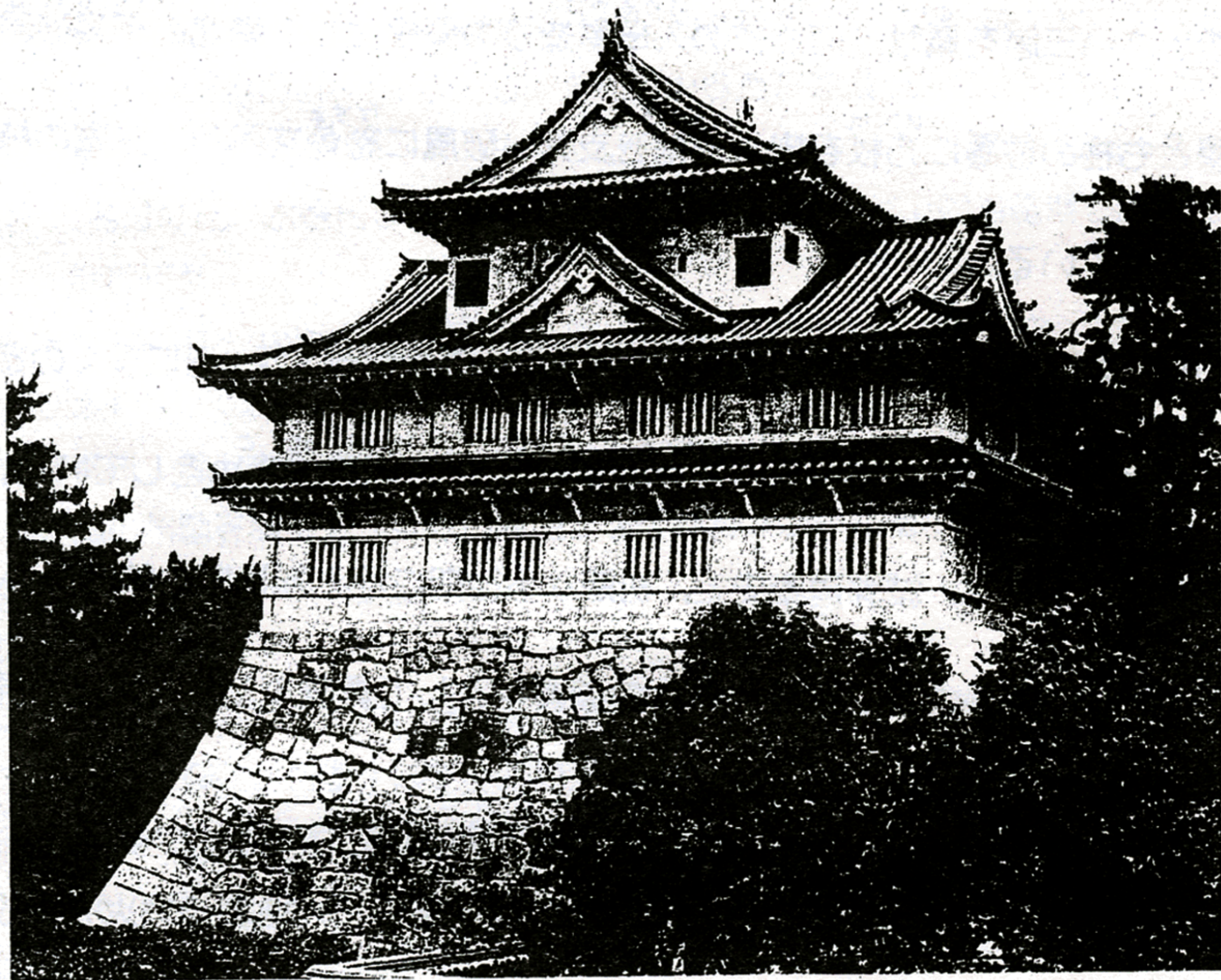


国重要文化財 伏見櫓 公開



伏見櫓 ふしみやぐら

昭和八年（1933）^{こくほう}国宝に指定，現在は国重要文化財，昭和29年（1954）解体修理

^{けたゆき}桁行八間，^{けん}梁間四間，^{はりま}三重三階，^{いりもやづくり}入母屋造，^{ほんがわらぶき}本瓦葺，北を正面にする

この櫓は，元和8年（1622）^{みすのかつなり}水野勝成の福山城築城にあたり二代將軍^{ひでただ}徳川秀忠が伏見城の一部を移建させたという。昭和29年の解体修理の折，^{はり}梁の^{いんこく}陰刻に「松ノ丸ノ東やくら」とあるのが発見され，^{いけん}移建の^{つた}伝えが明らかになった。

櫓は，^{しょそう}初層と二層は同じ平面の^{はしらわ}柱割りとして，東西方向に^{むね}棟を付け，さらにその上に下層よりやや小さい三層を載せ，南北棟の^{いりもやづく}入母屋造りの屋根とし，南北に^{ちどり}千鳥^は破風^はを造っている。各層とも柱の位置に^{ほうづえ}方杖を出し^{のきけた}軒桁を支え，破風に^{けぎよ}懸魚^つを吊り，三層の棟の両端に^{しゅちがわら}鯨瓦をのせている。

内部は，階段を付け，^{ゆかいたし}床板敷き，^{こやはりてんじょう}小屋梁天井とし，外部は東・西・南に多くの窓を開き，^{はしらかた}初層・二層を柱形・^{なげしかた}長押形を表わした^{はくあぬ}白亜塗りとし，三層を^{ぬり}塗籠め^ことしている。

これらの構造や手法は，城郭建築史上，初期から後期に移る^{けいちょう}転換期の特徴を示し，慶長年代（1596～1614）の城郭建築のひとつの典型として貴重であり，また伏見城の^{たし}確かな遺構としてきわめて価値の高いものである。

伏見城は，^{とよとみひでよし}豊臣秀吉から^{とくがわいえやす}徳川家康へと引き継がれた城で，大地震や戦火を乗り越え再建され続けたが，家康が^{すんぶ}駿府に本拠を移すとその役割は衰え，水野勝成が福山に入封した元和5年（1619）に廃城となり，本丸や松ノ丸の一部が福山城へ^{かし}下賜された。

1 福山入封以前の歴史

毛利氏が関ヶ原の役の敗戦で防長二カ国に封じこめられ、そのあとに福島・池田氏などの外様大名が転封された。元和5年(1619)福島正則(まさのり)の改易で、水野勝成(かつなり)は、備後国7郡と備中国の一部10万石の領主となった。岡山池田・広島浅野両外様大藩の間に割り込むかたちをとり、西国の外様大名たちを牽制する「西国鎮衛」の役目をもった。

2 福山城の築城

山陽道に近く、瀬戸内海を臨むこの常興寺山を選定し、伏見城の建物を拝領するなど、幕府からの援助を得て、元和8年(1622)に完成した。城号は「敵追山(てきおいさん・鉄覆山ともいう)朱雀院久松城」またの名を「葦陽(いよう)城」という。本丸北隅に天守閣、その前庭に伏見御殿、南側は伏見櫓(国重文)・筋鉄御門(国重文)・湯殿・月見櫓などを配置した。

3 福山開祖・水野勝成

水野勝成は、永禄7年(1564)忠重の嫡子として刈屋(岡崎ともいう)に生まれ、徳川家康の従兄弟に当たる。豊臣秀吉に仕え、その後西国におもむき、九州において佐々成政・小西行長・加藤清正・黒田長政に従い、合戦で手柄をたてた。父の遺領を継ぎ、関ヶ原の役、大坂冬・夏の陣で活躍し、その功により元和元年(1615)大和郡山6万石を領し、さらに福島正則の改易でその遺領の内備後10万石の領主となった。芦田川河口のデルタ地帯に上水道を敷設した城下町を建設し、「福山」と名付けた。水野氏5代、松平氏1代、阿部氏10代で明治維新を迎えた。

4 福山藩主・阿部正弘

江戸時代の後半は阿部氏の治世となる。その7代藩主が阿部正弘(まさひろ)で、老中阿部正精(まさきよ)の嫡子として江戸に生れた。天保7年(1836)18歳で藩主となり、同14年(1843)老中に就任した。10年後にペリーの来航(嘉永6年1853)に接し、老中首座としてついに二百余年間の鎖国を破って「安政の開港」を行った。江戸と福山に藩校「誠之館(せいしかん)」を建設し文武両道の教育を推進した。

5 天守閣の特徴

天守閣は本丸の最上段北隅にあり、南面し、五重五階地下一階で小天守(付櫓)に庇(ひさし)を連結させた複合天守閣で、各層1間ずつ遞減する均整のとれたスタイルが特徴である。最上階の5階には朱色の高欄をめぐらせ、北面の壁は鉄板で覆われていた。

6 本丸の建造物

天守閣(昭和41年復元、福山城博物館)、伏見櫓(本丸西南隅、三層隅櫓、本瓦葺、国重要文化財)、筋鉄御門(本丸西南、入母屋造り、本瓦葺、国重要文化財)、御湯殿(本丸南側、伏見御殿付属の建物、昭和41年復元)、月見櫓(本丸東南隅、昭和41年復元)、鏡櫓(本丸東側、文書館・昭和49年復元開館)、鐘櫓(本丸西側、市重要文化財)・黄金水(本丸西側・井戸)

7 お堀のこと

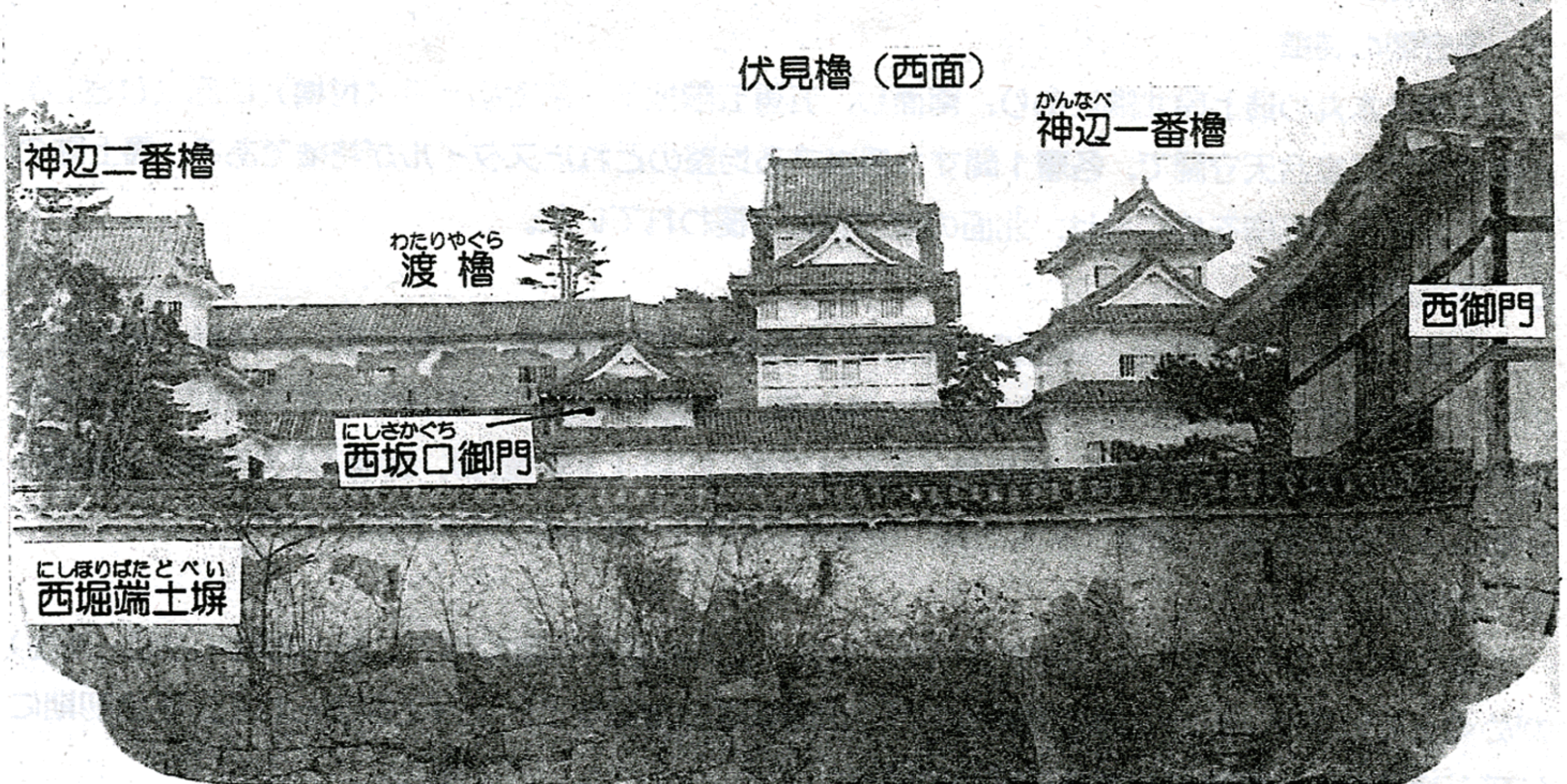
北面(搦手・からめて)の一部を除いて、本丸・二の丸を取り囲む形で二重のお堀(内堀・外堀)がめぐっていたが、明治中期の民間払下げ、山陽鉄道の敷設などによって埋められた。明治初期には蓮が植えられ、戦後もわずかに残っていた。



伏見櫓（西面）



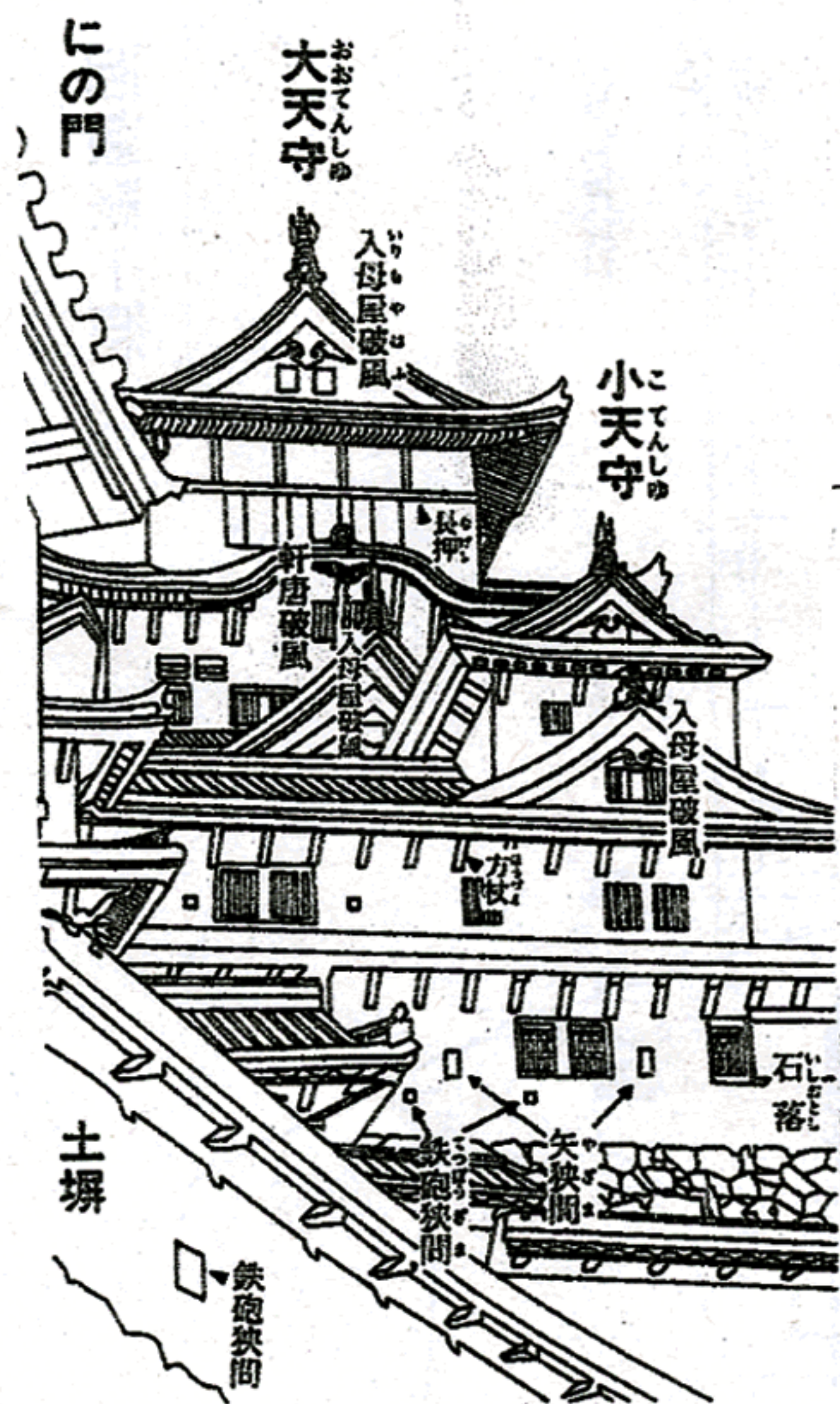
伏見櫓（南面）



西御門から伏見櫓（西面）を望む

●近世城郭の櫓数●

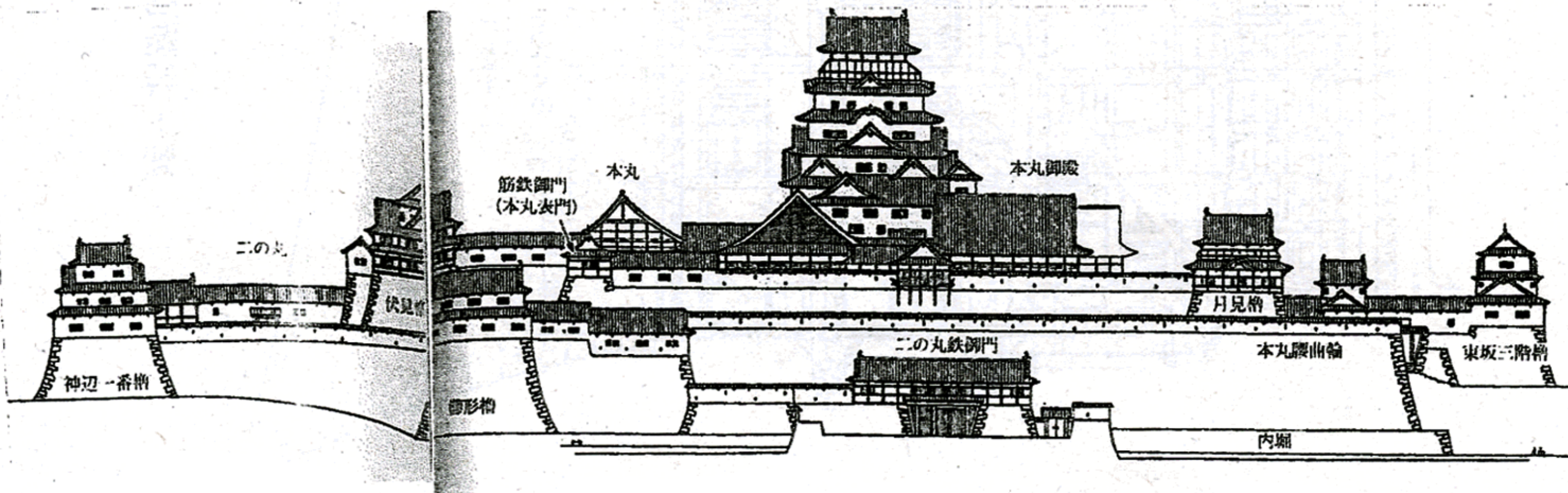
〔幕府による天下普請の城〕	名古屋城 慶長十五年(尾張徳川六十二万石)	三重櫓・二重三階櫓 四(現存三)	二重櫓 七(〇)	多聞櫓 総延長六三〇間一四(〇)	大坂城 元和六年(幕府直轄)	二重櫓 一五(四)	多聞櫓 総延長八七三間二六(二)	〔西国の外様大名の城〕	広島城 天正十七年(毛利百二十万石、慶長六年増築(福島四十九万石)	二重櫓 三五(再興二)	平櫓 三〇(一)	多聞櫓 総延長二八間一(一)	岡山城 天正十八年(宇喜多五十七万石、慶長六年増築(小早川五十一万石、同末期改築(池田三十一万石))	三重四階櫓 一(現存〇)	三重櫓 六(〇)	二重櫓 二四(二)	平櫓 二(〇)	多聞櫓 総延長一七五間一八(〇)	萩城 慶長九年(毛利三十六万石)	三階櫓 一(現存〇)	二重櫓 一九(〇)	多聞櫓 総延長九三間三(〇)	高知城 慶長六年(山内二十万石)	三重櫓 一(現存〇)	二重櫓 七(〇)	多聞櫓 総延長七八間九(三)	宇和島城 慶長元年(藤堂七万石、同後期増築、寛文二年(二六三)改築(伊達十万石))	二重櫓 一一(現存〇)	平櫓 二一(〇)	多聞櫓 延長二二間一(〇)	〔東国の外様大名の城〕	仙台城 慶長六年(伊達五十八万石、寛永十五年(二六〇)増築)	二重櫓 二(再興一)	平櫓 一(現存〇)	多聞櫓 総延長七八間二(〇)	米沢城 慶長六年(上杉三十万石)	三重櫓 一(幕府代用)	二重櫓 二(現存〇)	多聞櫓 四(〇)	〔譜代大名の城〕	徳川慶長城(山形県) 元和八年(酒井十四万石)	二重櫓 二(現存〇)	多聞櫓 総延長三四間二(〇)	明石城 元和五年(小笠原十万石)	三重櫓 四(現存二)	二重櫓 六(〇)	平櫓 一〇(〇)	備後福山城 元和六年(水野十万石)	三重櫓 七(現存二)	二重櫓 他城からの移築 一六(再興二)	多聞櫓 他城からの移築 二二(現存一)	浜松城 十六世紀末十七世紀初(三七万石)	二重櫓 三(現存〇)	平櫓 一(〇)	多聞櫓 延長二二間一(〇)	佐倉城(千葉県) 慶長十六年(土井三万石)	二重櫓 二(現存〇)
---------------	-----------------------	------------------	----------	------------------	----------------	-----------	------------------	-------------	-----------------------------------	-------------	----------	----------------	--	--------------	----------	-----------	---------	------------------	------------------	------------	-----------	----------------	------------------	------------	----------	----------------	---	-------------	----------	---------------	-------------	--------------------------------	------------	-----------	----------------	------------------	-------------	------------	----------	----------	-------------------------	------------	----------------	------------------	------------	----------	----------	-------------------	------------	---------------------	---------------------	----------------------	------------	---------	---------------	-----------------------	------------



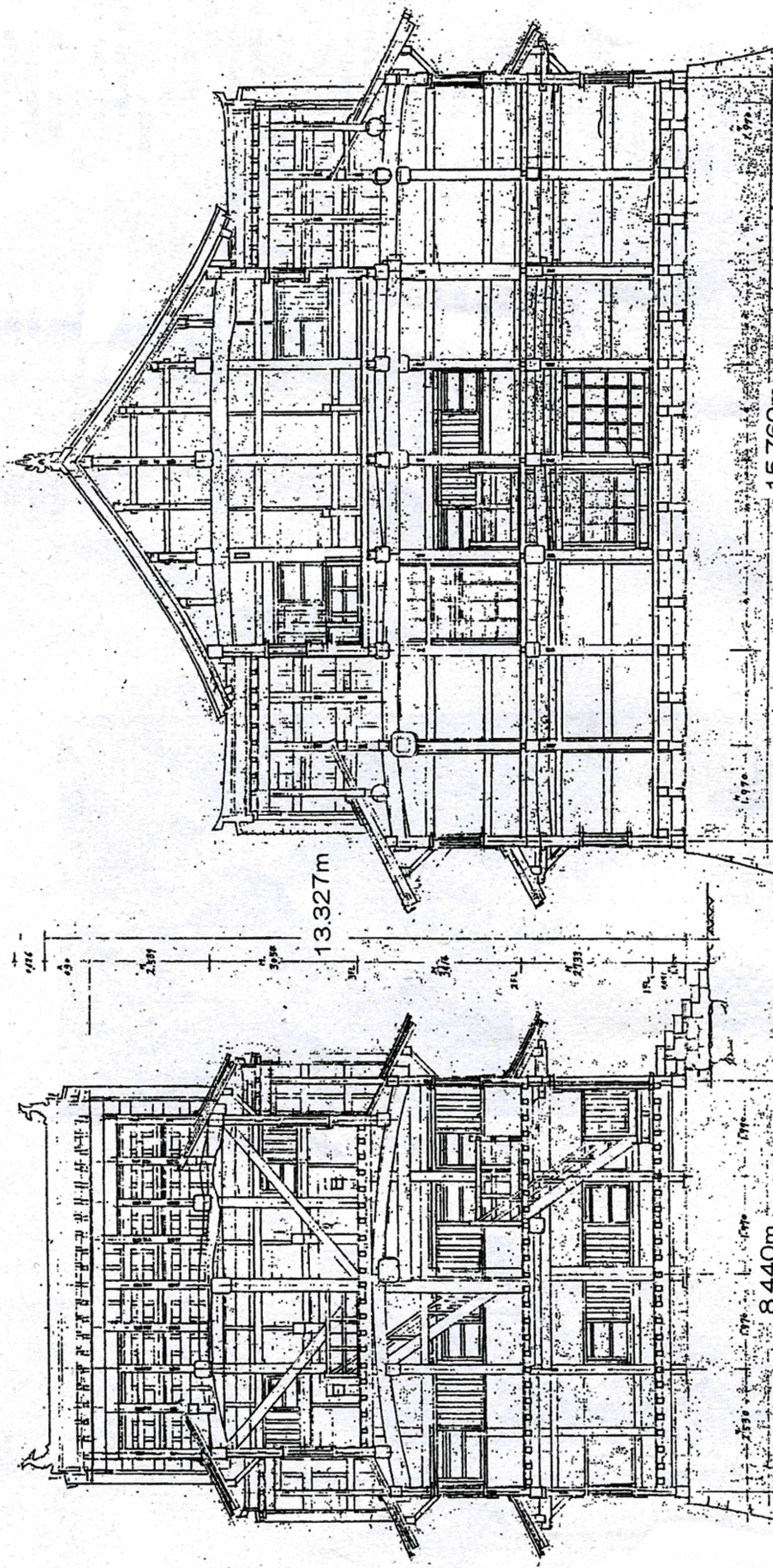
てんしゆかくなどころ
天守閣名所



「松ノ丸ノ東やぐら」の陰刻がある梁



ふくけんりつめんす
福山城本丸・二の丸復元立面図(南面)



1/16
A
2.391
3030
3/2
3/4
2FL
2/33
15
491

13.327m

2530
1070
1070
8.440m
C-a-b断面
1:150

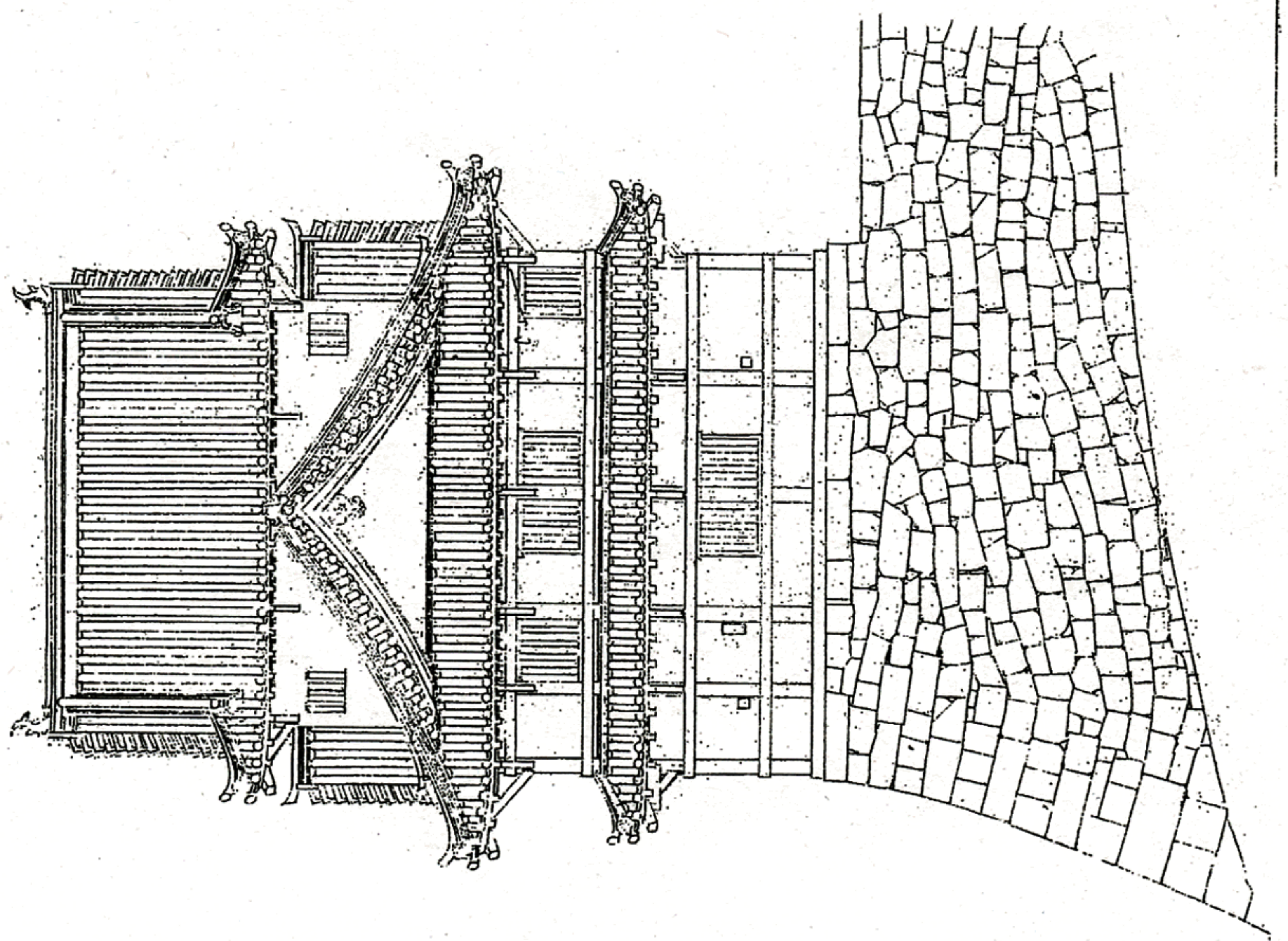
断面图

1.970
1.970
1.970
15.760m
A-a断面
1:150

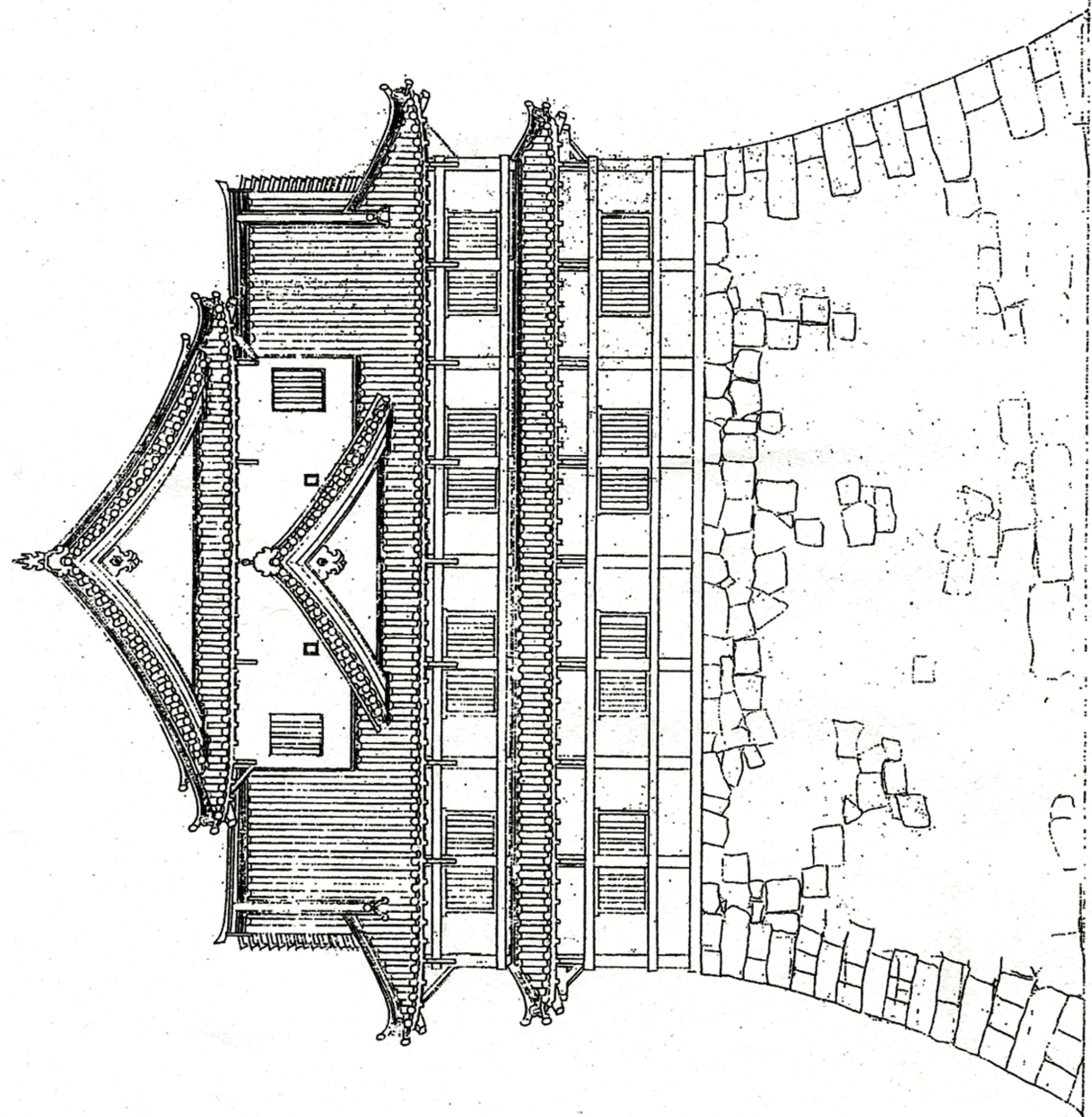
西一東断面

南一北断面

福山城伏見櫓断面图 (S=1:150)



東面姿図



南面姿図

福山城伏見櫓姿図 (S=1:150)